

## 錯視の文法を探る～視覚モデリングへの諸アプローチ

とき：2017年3月6日（月）、7日（火）  
ところ：明治大学中野キャンパス6階セミナー室3  
（参加無料、事前参加登録不要、JR中央線中野駅から徒歩8分）

### 3月6日（月）

- 13：00－13：50 一川誠（千葉大学文学部）  
「奥行情報による時空間の構造化が引き起こす錯視」
- 14：00－15：50 中村聡史（明治大学総合数理学部）  
「錯覚とユーザインタフェース」
- 15：10－16：00 小山透（近代科学社）  
「錯覚だらけの、出版の世界」
- 16：10－17：00 北岡明佳（立命館大学総合心理学部）  
「並置混色と錯視」

### 3月7日（火）

- 9：30－10：00 杉原厚吉（明治大学先端数理科学インスティテュート）  
「高さ反転定理と、鏡の中で一部が消える透身立体錯視の創作法」
- 10：00－10：50 渡邊恵太（明治大学総合数理学部）  
「自己知覚と錯覚」
- 11：00－11：50 蘆田宏（京都大学大学院文学研究科）  
「The spinner illusion: 速度知覚における時空間周波数の影響」（仮題）
- 13：00－13：50 星加民雄（崇城大学総合教育センター）  
「視覚芸術表現要素としての視点位置とその応用」
- 14：00－14：50 阿部富士子（造形作家／扇研究家）  
「知られざる「扇」の世界－折りにみる視覚効果」
- 15：10－16：00 外井哲志（九州大学工学研究院）  
「初めての目的地へのドライバーの行動と案内誘導」
- 16：10－17：00 森川和則（大坂大学大学院人間科学研究科）  
「日常生活の中の錯視」

主催：明治大学先端数理科学インスティテュート（MIMS）

明治大学研究ブランディング事業「数理科学する明治大学」錯視学研究グループ  
連絡先：杉原厚吉（グループリーダー）kokichis@meiji.ac.jp